国土交通省
近畿地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Kinki Regional Development Bureau

Press release

令和５年２月２７日１４時
和歌山河川国道事務所

紀の川で伐採した樹木を魚類等の住みかに
～国と漁協と施工業者が連携した活動～

和歌山河川国道事務所では、治水能力向上のため紀の川に繁茂した樹木を「防災、・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」費用等を活用し計画的に伐採を行っています。一方伐採した樹木を有効活用すべく一般の方へ薪等として利用していただけるよう無料配布を行ってきましたが、今年度は大量に伐採を行ったことから新たな利用法として木工沈床の設置や防草目的のチップ材の作成など、国と漁協と施工業者で協力し活動を行います。

【開催日時】令和５年３月１日午前１０：００から　１時間程度

【開催場所】和歌山県和歌山市川辺地先（別添位置図　参照）（小雨決行）

【実施内容】
①紀ノ川漁業協同組合のご助言を頂き、施工業者（淺川組）及び和歌山河川国道事務所職員にて魚礁を作成します
②伐採木をチップ化し、岩出市において防草材（マルチング）として有効的に活用されます

【取材について】

＜取扱い＞　――――――――

＜配布場所＞
和歌山県政記者クラブ、和歌山県放送記者クラブ、和歌山県新聞記者クラブ、和歌山県地方新聞クラブ

＜問合せ先＞
和歌山河川国道事務所
副所長（河川）　：　竹中（たけなか）　宏徳（ひろのり）
総括保全対策官　：　辻野（つじの）　雅也（まさや）
TEL　：　０７３－４２４－２４７１（代表）

河川管理者の課題

・伐採した河川内樹木の処分費がかさんでいる。

・河床低下箇所では根固めを行う必要がある。

漁協の課題

・河川内樹木が阻害となり、釣り場へアプローチできない。

・樹木がなくなると魚類が鳥類に見つかりやすくなる。

提案

① 河床低下箇所において水生生物の生息場所として、樹木伐採後の伐採木をリサイクルした木工沈床の設置。

② 伐採木をリサイクルしたマルチングの施工。

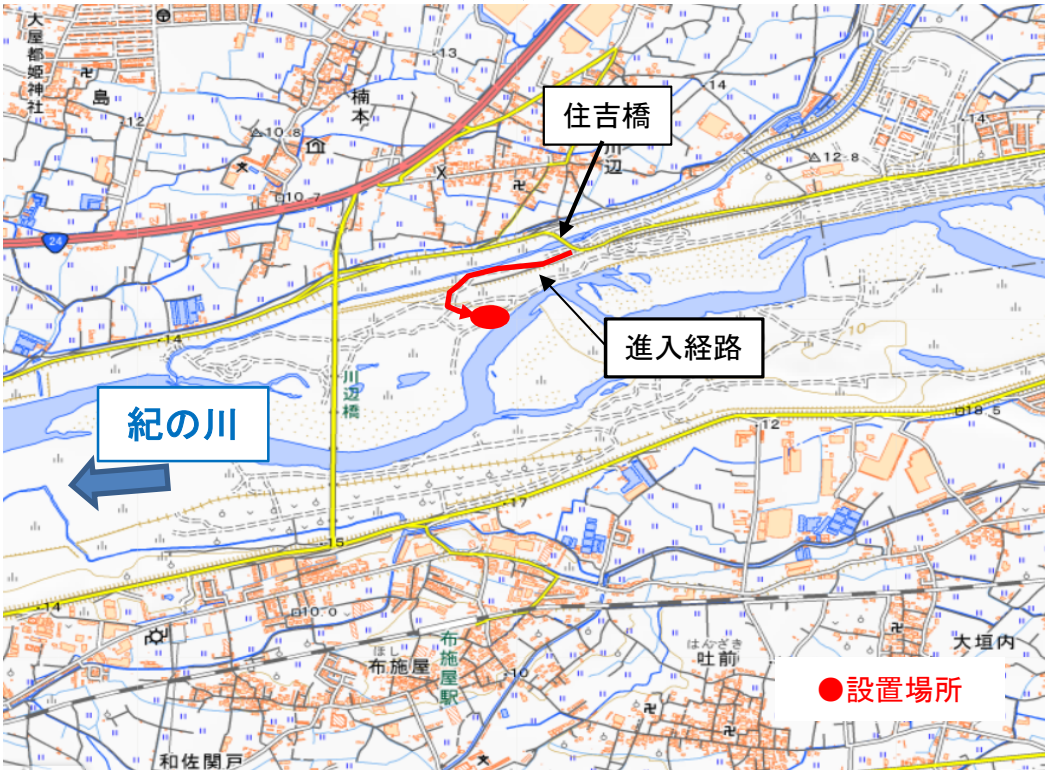
木工沈床
（イメージ）

チップ化の様子

チップ後の伐採木→

対策のメリットと効果

① 河床低下対策としている根固ブロックの代替品として木工沈床を使用することで魚巣としての効果を期待でき、更に樹木伐採後の伐採木をリサイクルすることで処分費（運搬費含む）を軽減することができる。

② 河川管理のため実施している除草の代替としてチップ材を敷設することで防草効果が期待でき、更に樹木伐採後の伐採木をリサイクルすることで処分費（運搬費含む）を軽減することができる。

位置図